



第19回 長崎大学病院 ICLSコース 報告書

長崎大学病院は、救急医療教育の一環として、全研修医の日本救急医学会認定『ICLSアシスタントインストラクター』資格取得を目指しております！



平成30年6月2日(土)開催

主催:長崎シミュレーション教育研究会
共催:長崎大学病院 外来・救急医療教育室
地域医療支援センター
シミュレーションセンター
協力:日本光電九州株式会社

コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。身につける行動の目標は以下の通りです。

- 蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- BLS(一次救命処置)に習熟する
- AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- 心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- 除細動の適応を判断できる
- 電気ショックを安全かつ確実に行なうことができる
- 状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- 気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- 状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- 治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

実施結果

受講生17名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。
また、スタッフ(コースディレクター1名、インストラクター6名、アシスタントインストラクター4名)計11名で指導を行い、2ブースを問題なく運営した。
また、スタッフは医師だけでなく、看護師、救命士、とコメディカルからの参加もあった。

※スタッフ詳細はP.4

<実施内容>

開催日時	平成30年6月2日(土) 9:20~17:00
受講者数	17名
対 象	初期研修医 17名
場 所	長崎大学病院 シミュレーションセンター

<スケジュール>

		グループA	グループ(B)	グループ(C)
09:00~09:20	0:20	受 付		
09:20~09:30	0:10	オリエンテーション		
09:30~10:05	0:35	BLS+AED シミュレーション室1・2		
10:05~10:15	0:10	休憩・移動		
10:15~11:15	1:00	モニター	気道管理	
11:15~11:25	0:10	休憩・移動		
11:25~12:25	1:00	気道管理	モニター	
12:25~13:15	0:50	昼 食		
13:15~13:20	0:05	BLS・ALSデモンストレーション		
13:20~14:30	1:10	チーム蘇生	チーム蘇生	チーム蘇生
		VF/VT	VF/VT	VF/VT
14:30~14:40	0:10	休憩・移動		
14:40~15:25	0:45	non VF/VT	non VF/VT	non VF/VT
15:25~15:40	0:15	休 憩		
15:40~16:40	1:00	メガコード	メガコード	メガコード
16:40~17:00	0:20	終了式・修了証授与式		

午前: BLS(シミュ1)、気道管理(シミュ1)

インストラクター: ○松本、中岡、小森
アシスタント: 明穂、山口(小)

午前: BLS(シミュ2)、モニター(シミュ3)

インストラクター: ○井山、百木、山口(愛)
アシスタント: 田島、田中
○は、ブースリーダー

午後: グループ1

○松本直也、山口愛鈴、明穂尚基

グループ2

○井山慶大、小森悠二、山口小百合

グループ3

○中岡賢治朗、百木真吾、田島吾郎、田中栄一
○は、ブースリーダー

◆アンケート◆ 受講者の声

- ・自分が出来る事を早く見つける。
- ・自分の行動はすぐチームに報告するように意識できるようになった。
- ・周囲との連携をどのようにすれば良いか判断する意識ができた。
- ・今まではCPAの患者さんが来てもわけも分からず眺めていることしかできなかったが、今回の講習会で理解することが出来た。
- ・リーダーとしてやってみて、検索すべきものを確認できた。
- ・体を使ってBLS・ALSになれることが出来たと思います。
- ・多少なりとも動けるようになったと思います。
- ・流れを身に付けることが出来ましたが、原因検索のための知識や思考パターンがまだまだと感じました。勉強したいと思います。
- ・自分の役割と声出しでの指示だったり、受講前よりかなり出来るようになった。ただ、リーダーは周囲のメンバーの様子を見て、原因疾患を考えながらと考えることが多くもっと練習が必要だと思った。
- ・あまり変わった気がないので、勉強します。
- ・変わった。
- ・視野を広くする意識が強くなった。
- ・やはり、回数を増やすにつれて、チーム力が上がってきた。
- ・BLSの講習会は受けましたが、自信は持てませんでした。ICLSコースを受講して、以前より少しはできそうかなという自信ができました。
- ・チームで取り組むことの重要性を理解し体感できた。
- ・チーム一員として行動するためには、声を出すことが大切だと理解した。
- ・原因検索をしながら次に行うべき検査や処置を考えるのは、難しかったです。流れを理解した上で、その場で行う手技も現場で実際に経験して習得したいです。

◆アンケート◆ スタッフの声

1) 受講者の態度・意欲はどうだったか？

- ・とても積極的でした。5
- ・熱心で非常に好感が持てた。
- ・ほぼ、良好。積極性や明るさあり。
- ・意欲的。明るい子が多かった。
- ・これまでのコースの中で、一番質問を受けたコースで皆さん熱心でした。
- ・みなさんよく事前学習していたと思います。

2) 予備知識（予習含む）はどうだったか？

- ・よく勉強していました。3
- ・検査データや身体症状がスラスラ出ていてすごいなーと思いました。
- ・実際に体を動かすことで知識の定着につながったと思えた。
- ・6月にしてはよく出来ている。
- ・予習はしっかり行われていた。2
- ・予習をしっかりしてきているという印象はなかったです。
- ・やはり2年次はさすが！

3) ディレクター、インストラクター、アシスタント、チューターの指導はどうだったか？

- ・フィードバックがとても上手で頼りになりました。
- ・知識も技術も、臨機応変に対応されていて勉強になりました。
- ・真似したい教え方や言い回しがあり、勉強になった。
- ・熱心でインタラクティブ！
- ・良かったと思います。・親切な人が多い。
- ・分かりやすい指導法で、いつも勉強になります。
- ・良く動いてくれました。・頼りになりました。
- ・指導、コーディネート等勉強になりました。
- ・指導の仕方をフィードバックして頂き、次に活かしたい。
- ・しっかりサポートして頂きました。

4) 今後について、ひとこと

- ・次回には、もう少し活躍できるように自己学習頑張ります。
- ・今後も続けて行きましょう！
- ・第20回記念、楽しみにしています！2
- ・続けて欲しいです。・次回も参加します。
- ・今後も出来る時は参加していきたいと思います。

●改善点●

- ・評価表について内容を検討した方が良くと思う。
- ・モニターブースでVT/VF、PEA/心停止のプロトコルを教えるのか、PMから方針を決めたほうが良いと思う。教えるタイミングが人によって異なるので。
- ・モニターの接続、立ち上げについてマニュアルへ記載してもらえると準備がスムーズに行える。

準備する資機材(3ブース)

資機材名	必要数	備考
ALSシミュレータ、操作用PC	3	
レサシアン	6	
バックバルブマスク	6	
AEDトレーナー	4	フィリップス
気道管理トレーナー	3	
モニター付き除細動器	3	単相性(予備) 1 二相性 2
気道管理ボックス	3	各ブースに1箱ずつ
注射器10ml		
バイトブロック		
吸引チューブ		
口腔エアウェイ		
経鼻エアウェイ		
聴診器		
ポケットマスク		
喉頭鏡ブレード(4.0)		
喉頭鏡柄		
チューブ固定具		
酸素マスク		
酸素カニュラ		
挿管チューブ		
スタイレット		
CO2チェッカー		
テープ		
点滴	2	各ブースに1つずつ
点滴スタンド	3	各ブースに1つずつ
ワゴン	3	
聴診器	3	
アルコール綿	多目	
ホワイトボード	4	
ホワイトボードマーカー4色	12	
ストップウォッチ	6	
メトロノーム	2	
延長コード	4	



長崎大学病院 外来・救急医療教育室

地域医療支援センター、シミュレーションセンター

〒852-8501

電話 (095) 819-7346

長崎市坂本1丁目7番1号

FAX (095) 819-7379